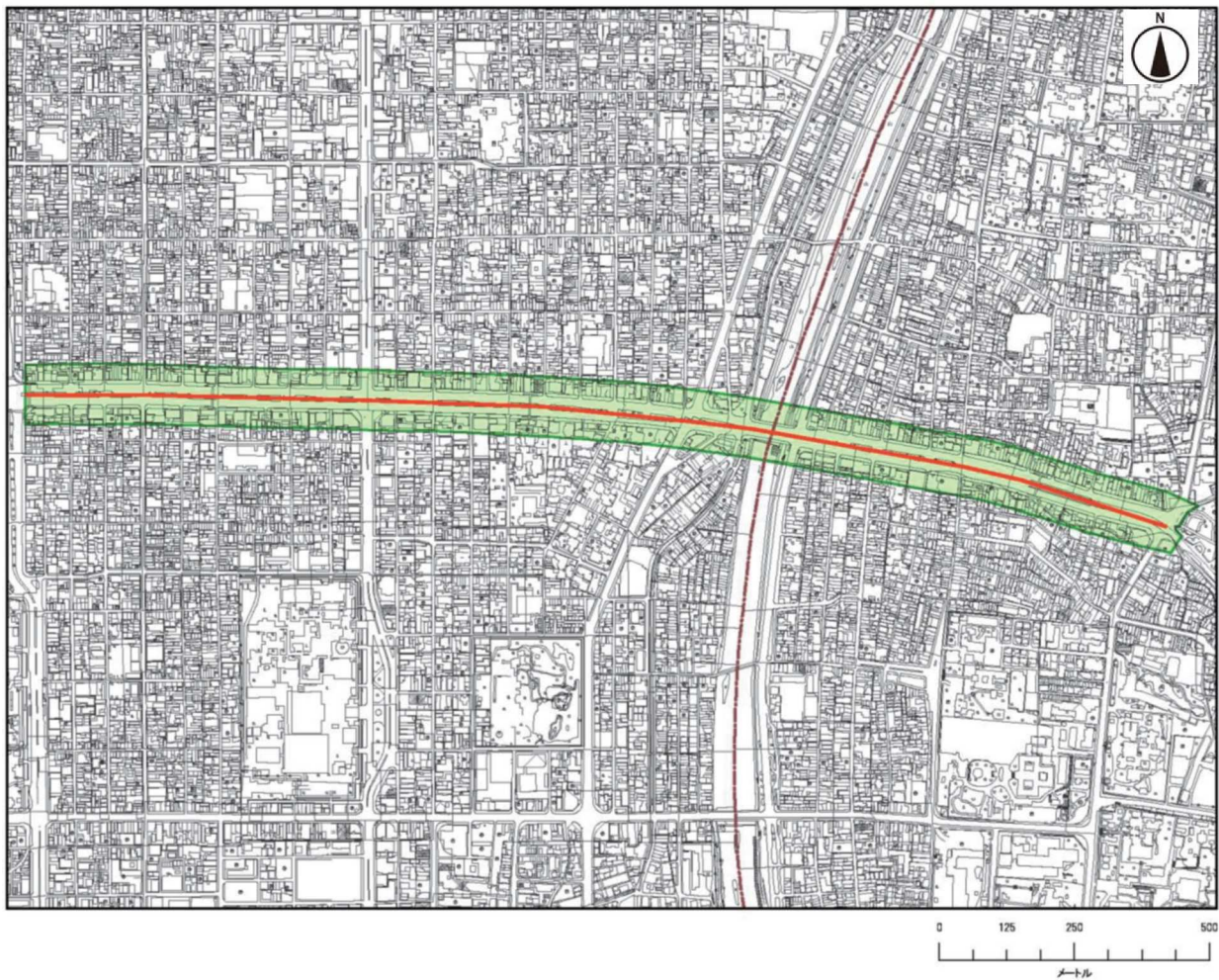




(30) 五条通



●保全区域の範囲

凡例	区域の種別	区域の範囲
	視点場	堀川通東詰から東大路通東詰までの五条通
	近景デザイン保全区域	堀川通東詰から東大路通東詰までの五条通の境界線からの水平距離が30m以内の範囲

●近景デザイン保全区域の基準

<p>1 建築物等は、アイストップとなる東山や西山の山並みと五条通沿道の中高層建築物等によって一体的に構成される良好な景観を阻害してはならない。</p> <p>2 建築物等は、次に掲げる基準に適合するものでなければならない。</p>	
形態・意匠	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築物の屋上部は、良好なスカイラインの形成に資するものとする。 ● 建築物等の各部分は、山並みの良好な眺めを阻害しないものとともに、優れた沿道景観を形成するものとする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好な通りの眺めの保全及び形成に支障となる建築設備、工作物等を設けないこと。

